

半僧坊大祭 4月17日



半僧坊縁起

半僧坊（はんそうぼう）とは、天狗の姿に似た山の守り神。方広寺（ほうこうじ、浜松）の奥山半僧坊大権現が起源です。

半僧坊は現生の諸願を叶えると言われ、鎌倉建長寺にも祀られます。方広寺、建長寺、平林寺は三大半僧坊とされ、各寺院では年に1度、大祭を催します。

平林寺半僧坊大祭

平林寺の半僧坊大祭（はんそうぼうたいさい）は毎年4月17日です。当日は午後2時より、華やかなお練り（祭礼行列）が本堂を出発し、山門、半僧門を通過して半僧坊感應殿へと向かいます。感應殿では僧侶により大般若祈祷の法要が行われ、大祭が厳かに締めくくられます。

